

編集後記

多根総合病院 副院長 渡瀬 誠

2012年のノーベル生理学・医学賞が、“生物のあらゆる細胞に成長できて再生医療の実現につながるiPS細胞”を初めて作製した京都大学教授の山中伸弥先生に授与されてから早いもので2年が経った。そして今年(2014年)はノーベル物理学賞に“明るく省エネ型の白色光源を可能にした効率的な青色発光ダイオード(LED)の発明”で赤崎勇(名城大学教授)、天野浩(名古屋大学教授)、中村修二(米カリフォルニア大学教授)の三先生がまさしくLEDのように輝いた。青色LEDの発明は省エネ、地球温暖化抑制対策に関して人類に多大な貢献を果たすのは確実であり大変な発明だと思う。私自身時々テレビのインタビューを見て興味深く感じるのは、赤崎先生は厳格で慎ましい従来型の日本人研究者、天野先生は研究が好きでしょうがないといった純朴で真面目な日本人研究者である一方、中村先生は現在の居住地がアメリカであることも手伝ってか豪快なアメリカ人研究者に見えることである。同じ研究をしていてもやはり人格や性格は違うものであり、それまでの人生を投影していると感じる。

多根総合病院医学雑誌は新病院の誕生と同じく4年目を迎え、総説1、原著3、症例7、看護研究2の13の論文を掲載することができた。この雑誌を見れば多根総合病院の特徴がわかる。他施設からの論文掲載依頼が来るような雑誌になれるように今後も努力していきたい。

最後に、論文提出していただいた方々、関係諸氏に感謝申し上げます。

多根総合病院医学雑誌編集委員会

委員長：丹羽 英記(院長)

副委員長：渡瀬 誠(副院長)

委員：林 美樹(副院長)／安部 嘉男(救急科)／小川 淳宏(外科)／森 琢児(外科)／

濱 典男(内科)／小川 竜介(脳神経外科)／細川 幸成(泌尿器科)／

青池 太志(神経内科)／山中 清孝(整形外科)／松尾 良一(放射線科)／

吉原 渡(中央検査部)／竹浦 久司(医療技術部)／川住 勇(中央検査部)／

西村 洋子(看護部)

事務局：上野 梢(総務)／織田 恵美(総務)

多根総合病院医学雑誌

第4巻 第1号

平成27年3月 発行

編集兼発行 多根総合病院(代表：丹羽英記)

大阪市西区九条南1丁目12番21号

〒550-0025 電話(06)6581-1071(代)

FAX(06)6585-2757

E-mail ikyoku@tane.or.jp

(担当 上野, 織田)

印刷所 株式会社 学術出版印刷

大阪市此花区春日出中2-14-9

〒554-0022 電話(06)6466-1588